

# 茨城大学図書館・本館における 新入生ガイダンスの実施について

---

平成19年度  
学術情報リテラシー教育  
担当者研修

# 内容

---

## 1．茨城大学図書館について

- \* 概要、情報リテラシー教育の実施体制

## 2．本館の新生ガイダンスについて

- \* 内容、実施結果

- \* 資料作成・実演時のポイント、課題

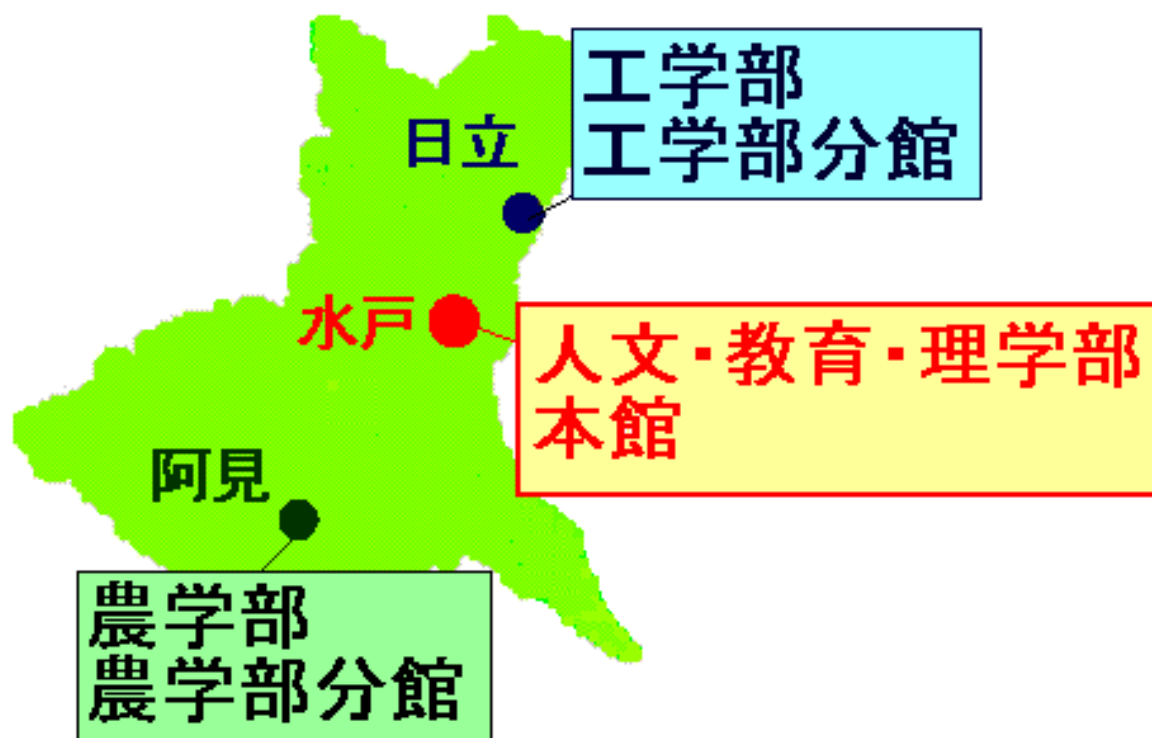
# 1. 茨城大学図書館について

---



# 茨城大学の概要

## 5学部3キャンパス



学生数

約8,660人

教職員数

約900人

# 茨城大学図書館・本館の概要

蔵書数	約70万冊
職員数	20人(うち常勤11人)
サービス 対象	* 水戸キャンパスの 学生・教職員(約6,000人) * 学外者

# 近年力を入れている取り組み

## ● 地域連携事業

### 例1：県内公共図書館との連携

\* 連携協力協定の締結

\* 県立図書館との相互研修('07年10月～)

### 例2：市町村との共同事業

\* 古文書の解読 (電子化を見据えて)

# 近年力を入れている取り組み

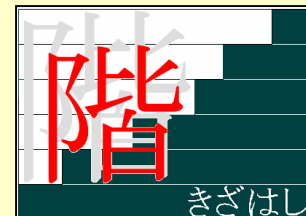
- 図書館のPR

例1：オープンキャンパスへの参加

例2：図書館ロゴの作成



例3：広報誌「階」の創刊



# 情報リテラシー教育の実施体制

- 各館ごとに企画、実施
- 実施結果等HPにあり

The screenshot shows the Ibaraki University Library website in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows 'http://www.lib.ibaraki.ac.jp/'. The website header includes the library name '茨城大学図書館 IBARAKI UNIVERSITY LIBRARY' and navigation links like '蔵書検索', '利用案内', 'Webリクエストサービス', 'アクセス', and 'お問い合わせ先'. Below the header, there is a '閉館日カレンダー' (Closed Day Calendar) for October 2007, showing dates from Sun to Sat. To the right of the calendar is a search box labeled 'サイト内検索' and a '検索 (by Google)' button. Below the search box, there are sections for 'NEWS', '学内資料検索', and '学外資料検索'. The 'NEWS' section lists several articles with dates like '9/18' and '7/19'. The '学内資料検索' section lists various databases and services. The '学外資料検索' section lists external databases like NACSIS Webcat, Webcat Plus/NIJ, and others. At the bottom, there is a section for '講習会、図書館セミナー' (Seminars, Library Seminars) with a red circle around it, containing links for '情報リテラシー教育支援 | 文献探索入門 | 2005年度実績 | 2006年度実績 | 2007年度実績' and '講演会:「論文作成の作法」(2006.10.23)'. The bottom of the browser window shows the 'インターネット' (Internet) icon.



## 2. 本館の新生ガイダンスについて



# 情報リテラシー教育の実施経緯

---

- 1992年：新入生ガイダンスを開始
  - \* 一人の教員の依頼がきっかけ
  - \* 閲覧担当係が実施
  - \* 以後、口コミで広がり定着

# 情報リテラシー教育の実施体制

---

- 2004年：担当係「**学術情報係**」新設
  - \* ILL、参考調査も担当
  - \* 係長1名(他係と兼任)、係員2名
- しかし基本は「**全館体制**」
  - \* 適宜、他係へ応援を依頼

# 情報リテラシー教育の実施企画

内容	開催時期
新入生ガイダンス	4月～6月
教員リクエストによる 授業内講習会	随時受付
図書館主催講習会	前期・後期

# 新入生ガイダンス 概要

---

- ゼミ形式の教養科目  
「主題別ゼミナール」の1コマを利用
- ゼミ形式ならではの特徴
  - \* 少人数(最大でも40名程度)
  - \* クラス分けは各専攻ごと

# 新入生ガイダンス 内容

- 各30分、全て館内で実施

## 全体説明



於：AV室

## OPAC演習



於：PCコーナー

## 館内ツアー



於：館内各所

# 新入生ガイダンス 対象

---

- 人文・教育・理学部の1年生
  - \* 工・農は2年生で該当科目を受講するため
- 希望クラスのみ（必修ではない）
  - \* 例年2～3月頃、主ゼミの担当教員に案内文書を出し、希望を募る

# 新入生ガイダンスの近年実績

年度	回数	参加者	参加率*
'05	35	913	約86%
'06	32	904	約86%
'07	32	872	約85%

\*人文・教育・理学部の1年生の総人数から計算



# ガイダンス資料作成の出発点

新入生像(推測)	対策
公共・学校図書館 しか知らない	大学図書館の 特徴を説明する
長い文章は あまり読まない	図や写真を活用

# 資料作成のポイント 内容

---

- **ともかく内容を絞る！**

- \* 目的は「図書館の印象づけ」

- (参考：日本図書館協会図書館利用教育委員会『図書館利用教育ガイドライン合冊版』2001、p.18)

- \* 1コマを通して理解してもらえばよい

- (館内ツアー、OPAC演習もある！)

# 資料作成のポイント 文章

---

- 「文字」を「㊦」にしてしまう
  - \* ㊦形の中に文字を書く
  - \* マンガの「ふきだし」をイメージ
- 単語の途中で改行しない

# 資料作成のポイント 見せ方

---

- 図や写真を活用する
  - \* PowerPointや[web上のフリー画像](#)を活用
- 色の使い方を意識する

(参考：藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術』  
講談社ブルーバックス、1999)

# 実演時のポイント

---

- 図書館用語は身近な例におきかえて説明する
- 聞き手と目を合わせる
- 単調にならないよう工夫する
  - \* 質問をして挙手を促す
  - \* 強調点は声を大きくする

# 実演時のポイント

- 「慣れ」が裏目に出ないように

職員

「もう数十回目。  
同じことの  
繰り返した...」



学生

「機械的な  
説明だなあ」

!

いつも初演の気持ちで

!

# 今後の課題

## • 適切な説明とは？

職員

「OPACでは  
資料の内容を  
検索できません」



学生

「OPACって  
不便だなあ」

正確な説明

いい印象

# 今後の課題

- 今の形(授業内で希望クラスに実施)がベストか？

カリキュラムに  
組み込んで  
もらうべき？



入学早々に  
一斉に行うべき？



# 今後の発展のために 挑戦

## 2007年度の新企画(一例)



農学部1年生全員に  
ガイダンスを実施



中高生に  
図書館ツアーを実施

# 今後の発展のために 宣伝

- HPのニュースに積極的に掲載する



オープンキャンパスの  
スタンプツアー



オープンキャンパスの  
書庫ツアー

# 今後の発展のために 営業

## 教員との関係強化のために

- 依頼されたら断らない
- 結果や教材をHPで  
公開する  
\* PRのため必要



授業内の講習会

# 今後の発展のために 評価

---

- 職員に本番をチェックしてもらう
  - \* 自分の思わぬクセを発見
  
- 学生の「声」を拾う
  - \* アンケート以外に、説明をした時の反応も参考にする

# まとめ：情報リテラシー担当の醍醐味

---

- \* 反応が直接返ってきて嬉しい
- \* サービスを見直すきっかけになる
- \* 図書館をPRする役目を果たせる

ご清聴ありがとうございました

---

茨城大学 学術企画部  
学術情報課 学術情報係  
矢内美どり